

広島県

平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果の概要

調査実施期日

平成 30 年 4 月 17 日 (火)

調査実施学校数 (県内公立学校) 等

	調査実施学校数	集計対象者数
小学校第 6 学年, 義務教育学校前期課程第 6 学年, 特別支援学校小学部第 6 学年	4 7 3 校	2 3, 8 7 5 人
中学校第 3 学年, 義務教育学校後期課程第 3 学年, 中等教育学校第 3 学年, 特別支援学校中学部第 3 学年	2 4 1 校	2 1, 5 6 8 人

教科に関する調査の結果

- 小学校は, 全ての教科において, 平均正答率が全国平均を上回っている。
- 中学校は, 数学 B において, 全国平均を下回っている (その他は同程度)。
なお, 指定都市 (広島市) を除いた場合は, 国語 A, 国語 B, 数学 A において, 平均正答率が全国平均を上回っている。

		小 学 校					中 学 校				
		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
平均正答率 (%)	広島県	73	59	66	54	63	76	61	66	46	66
	広島県 指定都市 (広島市) を除く	74	60	67	54	64	77	62	67	46	66
	全 国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

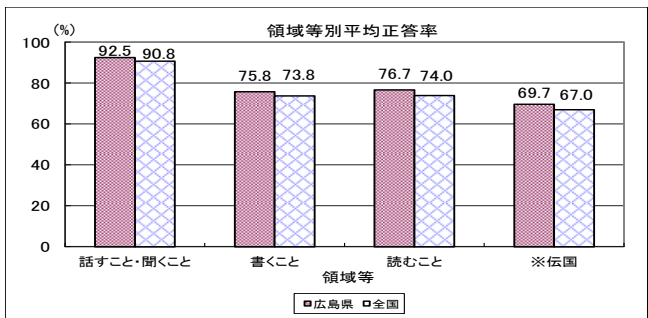
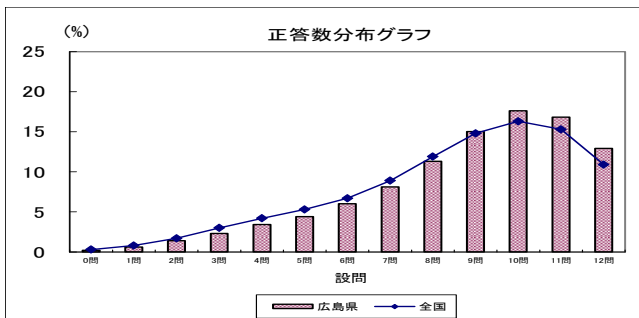
教科に関する問題の調査結果

〔一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した〕
 数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

1 小学校 国語

- 国語A（知識）については、平均正答率が 73%で、全ての領域等において平均正答率は全国平均より高い。
- 国語B（活用）については、平均正答率が 59%で、設問のあった全ての領域等において平均正答率は全国平均より高い。

国語 A



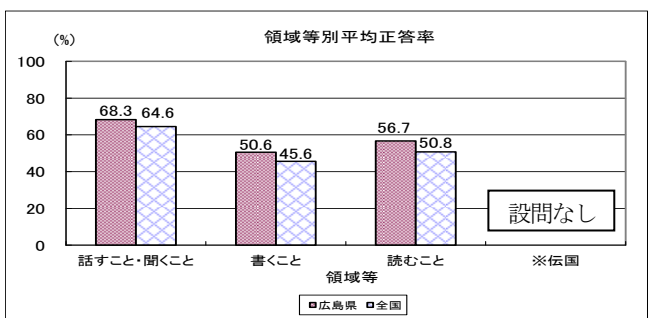
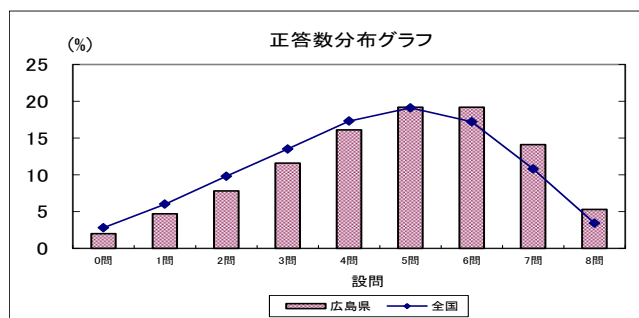
正答率上位2問

- 図書館への行き方の説明として適切なものを選択する (設問 1) 92.5% (全国 90.8%)
- 慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する (心を打たれる) (設問 6) 92.4% (全国 90.4%)

正答率下位2問

- 【春休みの出来事の一部】の中で、-----部と-----部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す (設問 5) 39.0% (全国 35.5%)
- 文の中で漢字を使う (せつ極的) (設問 8才) 54.1% (全国 51.4%)

国語 B



正答率上位2問

- 【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する (設問 1一) 85.9% (全国 82.5%)
- 【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する (設問 1二) 79.9% (全国 77.5%)

正答率下位2問

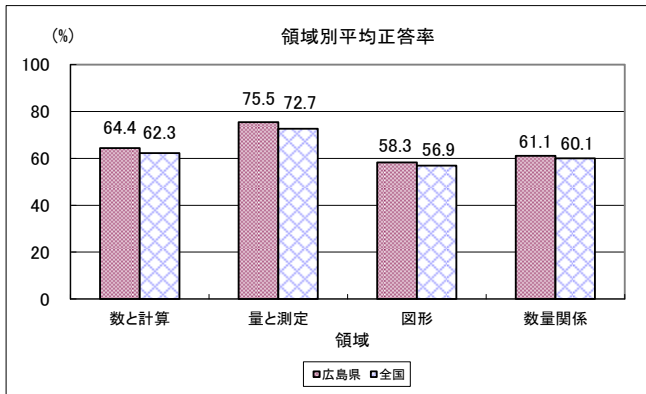
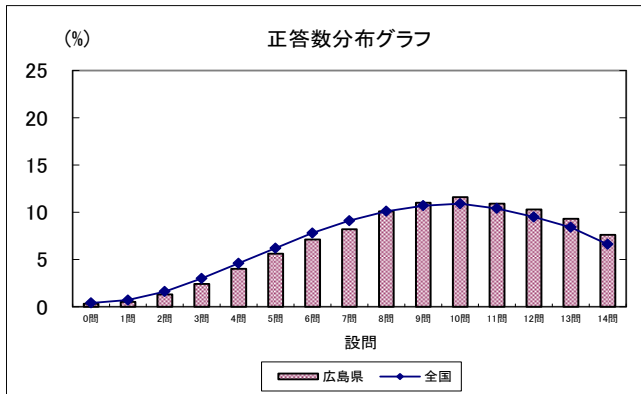
- 【おすすめする文章】の [] に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く (設問 2二) 18.9% (全国 13.5%)
- これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、 [] を書く (設問 1三) 39.1% (全国 33.8%)

※伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

2 小学校 算数

- 算数A（知識）については、平均正答率が66%で、全ての領域において平均正答率は全国平均より高い。
- 算数B（活用）については、平均正答率が54%で、全ての領域において平均正答率は全国平均より高い。

算数 A



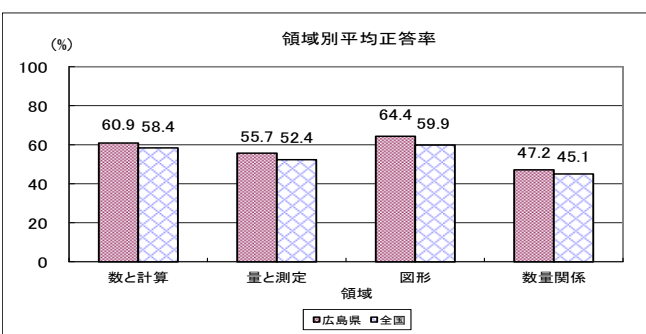
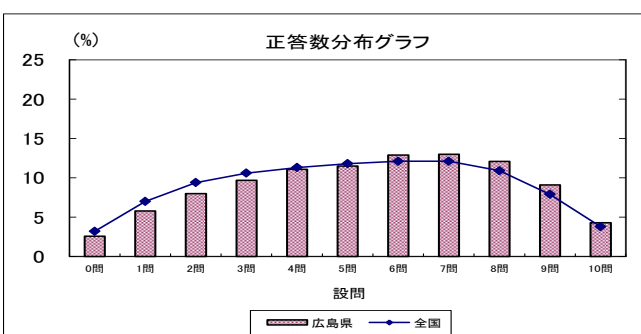
正答率上位2問

- 角①の角の大きさが、何度であるかを選ぶ
(設問 5(1)) 95.6% (全国 94.4%)
- 面積がそろっている②と①の二つのシートの組み合わせについて、正しいものを選ぶ
(設問 4(1)) 89.3% (全国 87.8%)

正答率下位2問

- 答えが $12 \div 0$ 、8の式で求められる問題を選ぶ
(設問 2) 42.4% (全国 39.9%)
- 円周率を求める式として正しいものを選ぶ
(設問 7(1)) 42.6% (全国 41.6%)

算数 B



正答率上位2問

- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ
(設問 1(1)) 75.1% (全国 71.7%)
- 全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く
(設問 2(1)) 71.9% (全国 70.5%)

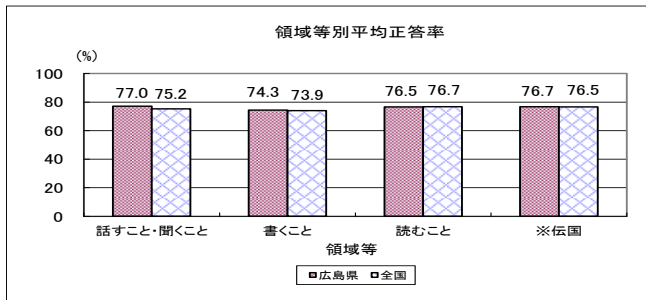
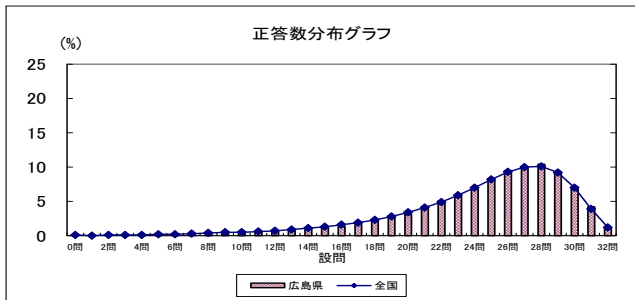
正答率下位2問

- メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く
(設問 3(1)) 23.9% (全国 20.7%)
- 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ
(設問 3(2)) 24.7% (全国 23.9%)

3 中学校 国語

- 国語A（知識）については、平均正答率が76%で、領域等別では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率は全国平均より高いが、「読むこと」は全国平均より低い。
- 国語B（活用）については、平均正答率が61%で、領域等別では、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率は全国平均より高いが、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」は全国平均より低い。

国語 A



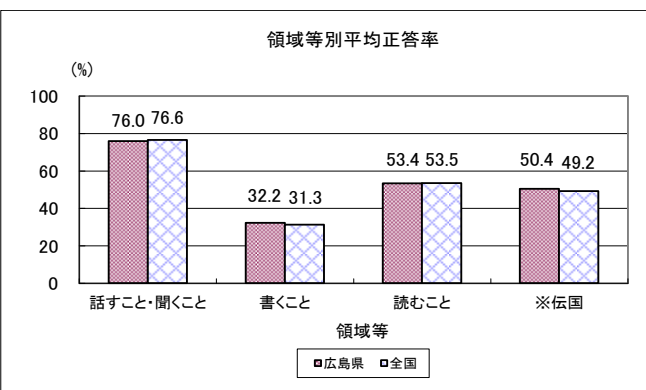
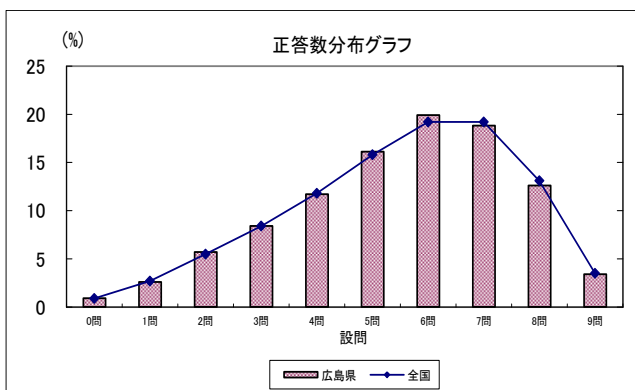
正答率上位2問

- 漢字を読む (技を磨く)
(設問 8二3) 98.0% (全国 98.1%)
- 漢字を読む (池の水が凍る)
(設問 8二2) 97.8% (全国 97.8%)

正答率下位2問

- 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のか分かるように書く
(設問 8四(2)) 25.3% (全国 22.3%)
- 適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)
(設問 8三工) 27.0% (全国 29.2%)

国語 B



正答率上位2問

- 二人に続いてする質問を書く
(設問 2二) 88.6% (全国 88.3%)
- 二人の質問の意図として適切なものを選択する
(設問 2一) 86.7% (全国 86.8%)

正答率下位2問

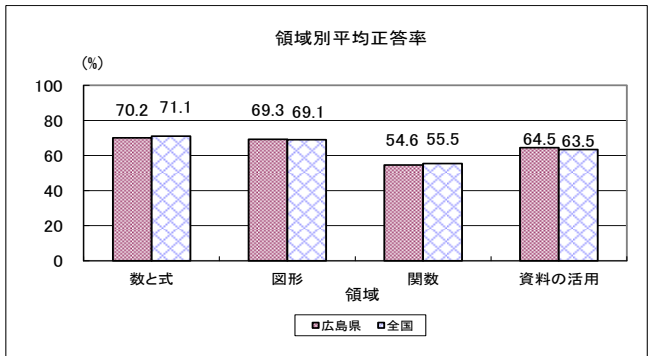
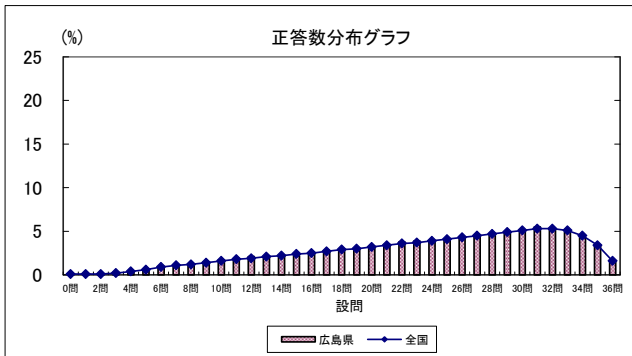
- 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く
(設問 1三) 14.1% (全国 13.3%)
- グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する
(設問 1一) 43.7% (全国 45.9%)

※伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

4 中学校 数学

- 数学A（知識）については、平均正答率が66%で、領域別では、「図形」、「資料の活用」の平均正答率は全国平均より高いが、「数と式」、「関数」は全国平均より低い。
- 数学B（活用）については、平均正答率が46%で、領域別では、「関数」の平均正答率は全国平均より高いが、「数と式」、「図形」、「資料の活用」は全国平均より低い。

数学 A



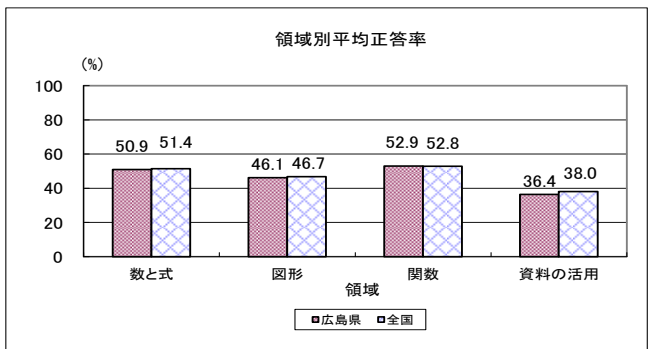
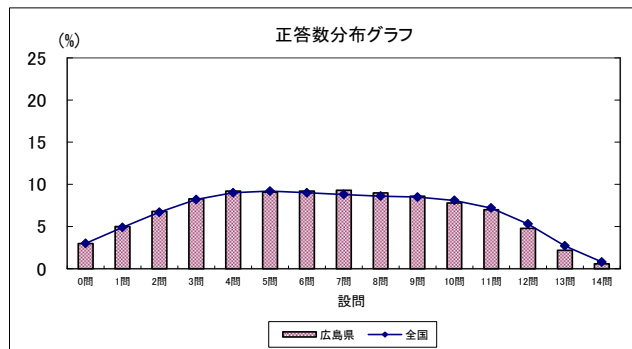
正答率上位2問

- 数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る (設問 1(1)) 94.2% (全国 94.6%)
- $6a^2b \div 3a$ を計算する (設問 2(2)) 88.4% (全国 91.0%)

正答率下位2問

- 歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ (設問 12) 33.8% (全国 36.4%)
- 1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ (設問 15(1)) 39.0% (全国 40.2%)

数学 B



正答率上位2問

- はじめの数が10のときの計算結果を求める (設問 2(1)) 88.9% (全国 89.5%)
- グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める (設問 3(2)) 78.2% (全国 77.7%)

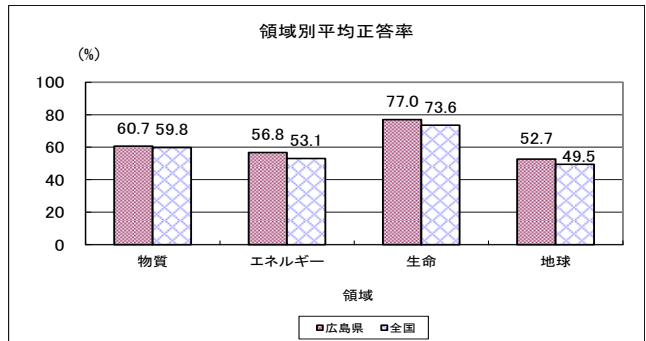
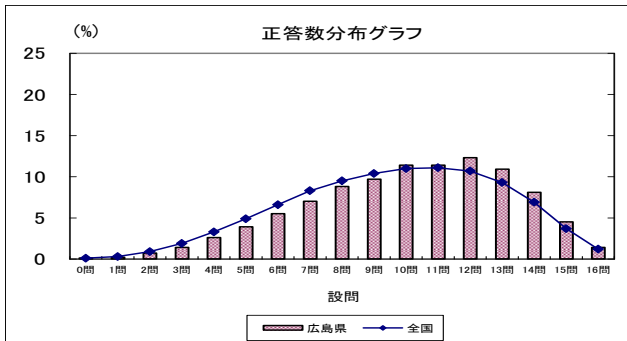
正答率下位2問

- 通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する (設問 5(2)) 10.2% (全国 10.4%)
- S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く (設問 5(1)) 13.0% (全国 16.0%)

5 小学校 理科

○ 理科については、平均正答率が63%で、全ての領域において平均正答率は全国平均より高い。

理科



正答率上位2問

- 海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ
(設問 4)(2) 89.9% (全国 89.4%)
- 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く
(設問 1)(3) 85.5% (全国 79.4%)

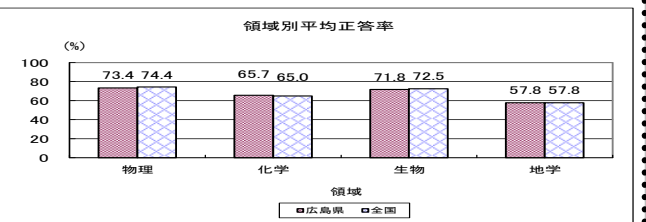
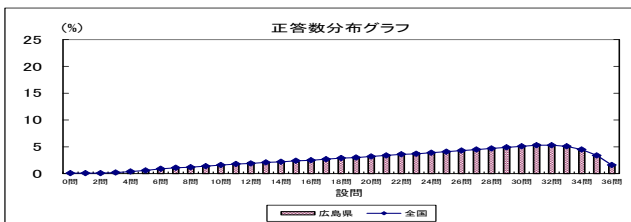
正答率下位2問

- 一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだだけを書く
(設問 2)(3) 22.2% (全国 20.1%)
- 食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ
(設問 4)(3) 39.9% (全国 42.7%)

6 中学校 理科

○ 理科については、平均正答率が66%で、領域別では、「化学」の平均正答率は全国平均より高いが、「物理」、「生物」は全国平均より低く、「地学」は全国平均と同じである。

理科



正答率上位2問

- 緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる
(設問 7)(3) 94.6% (全国 94.4%)
- 自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる
(設問 6)(3) 90.6% (全国 91.4%)

正答率下位2問

- 部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる
(設問 9)(2) 19.3% (全国 19.4%)
- コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる
(設問 3)(1) 36.4% (全国 37.5%)